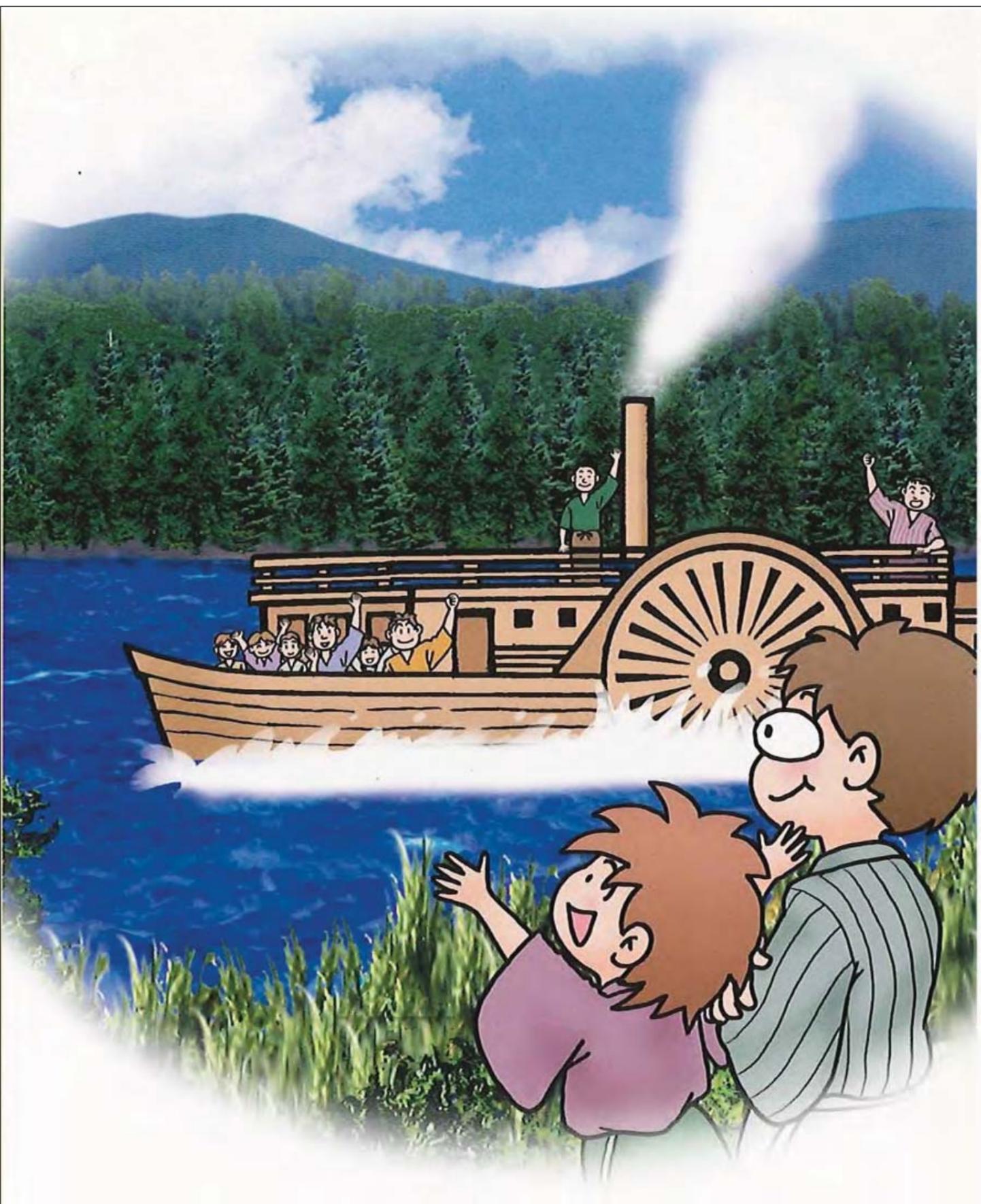


明治〜昭和中期

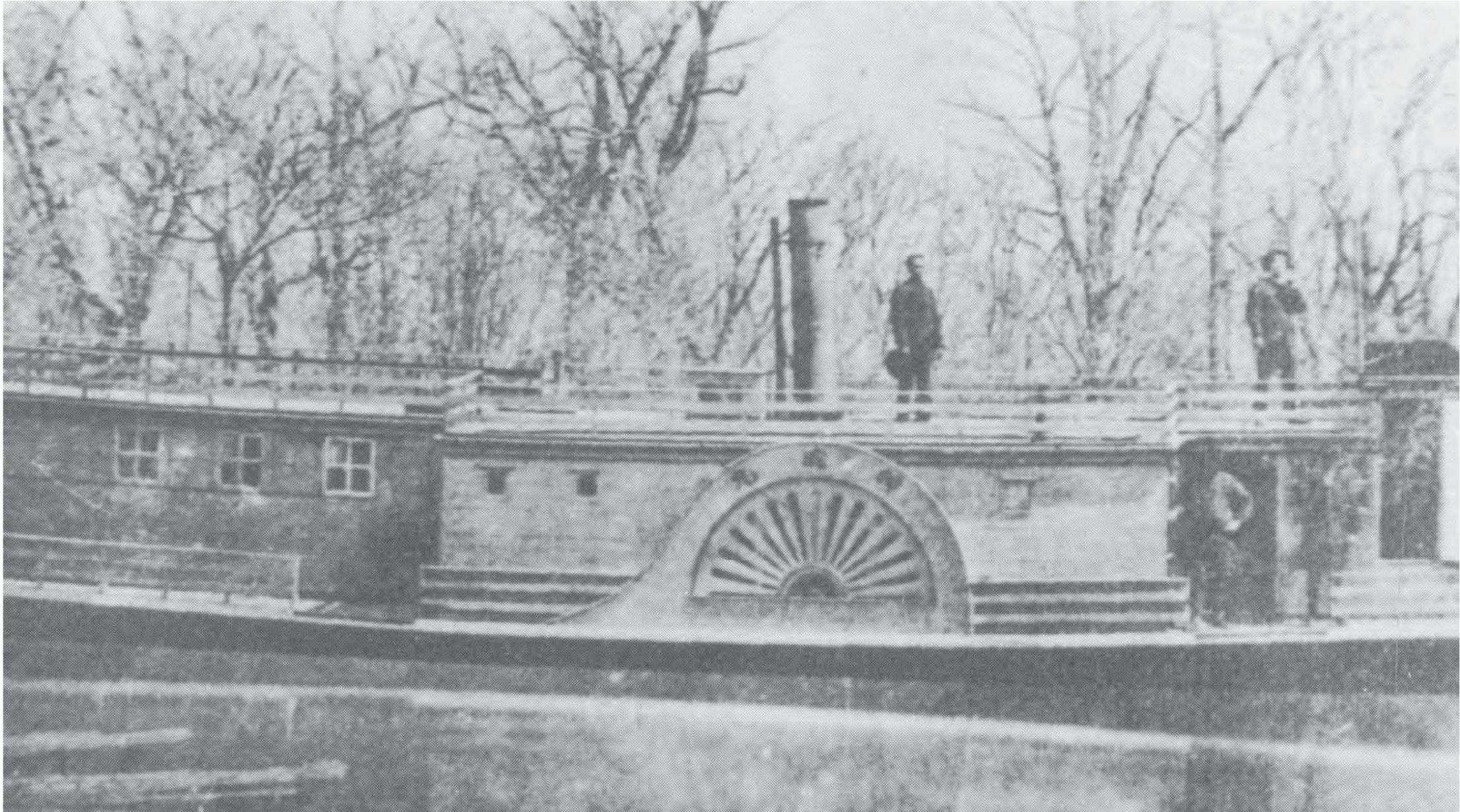
川を道として、人や物資が運ばれた

鉄道や道路が整備されていなかった当時、川に船を運航させて、人々は移動し、物資や農作物を運びました。

民営による経営は厳しく、北海道庁は石狩川を北海道の河川航路で唯一の「命令航路」に指定し、補助金を使って運航させました。



監獄汽船「神威丸」



撮影場所・年代 不明
出展：石狩川流域発展の礎・治水

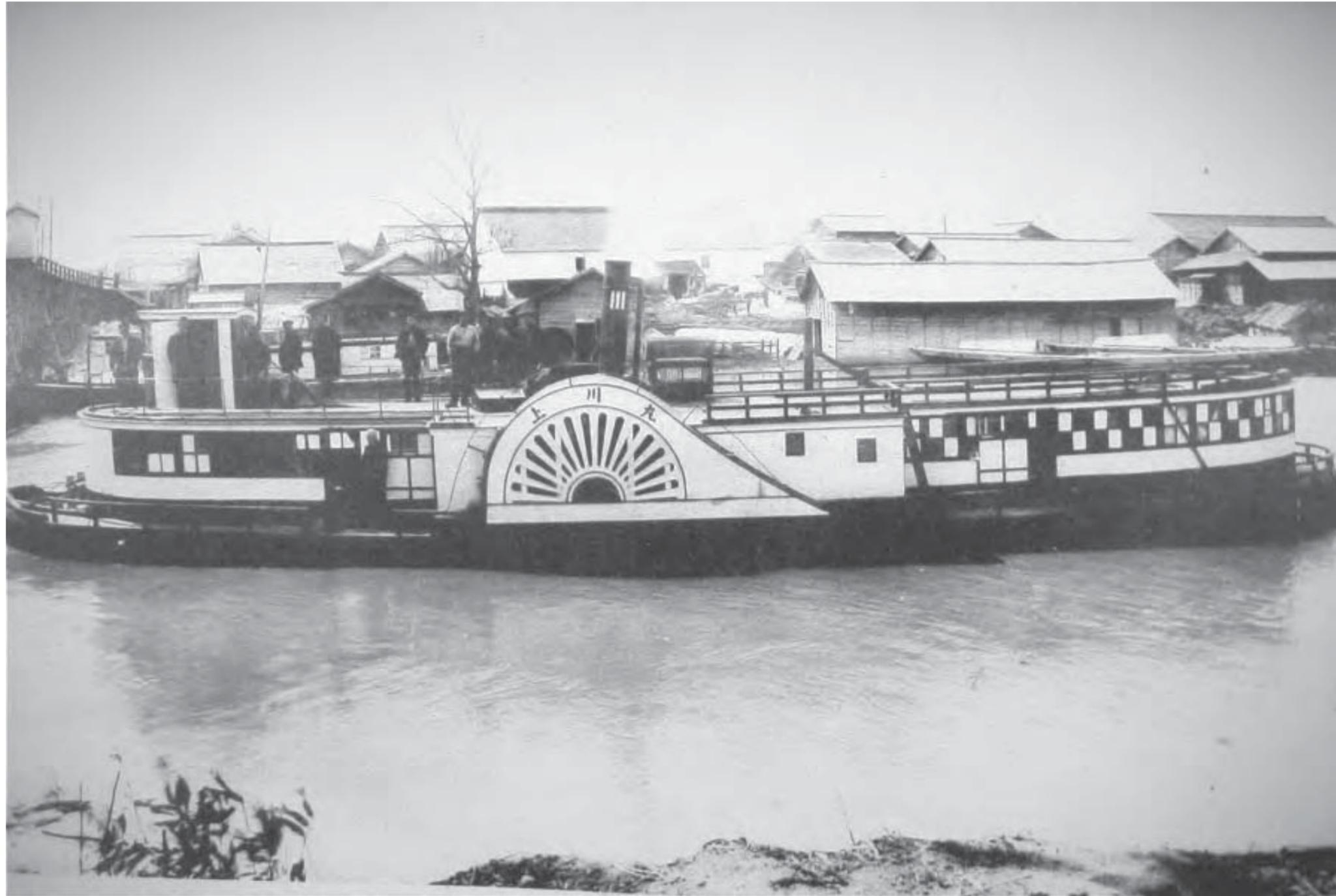
藤原汽船部の外輪船「上川丸」



大正15年(1926) 江別市 千歳川
所蔵・提供:佐藤幸之助



上川丸(初代)江別港にて



出展：石狩川流域発展の礎・治水

明治41年頃(1908) 江別市

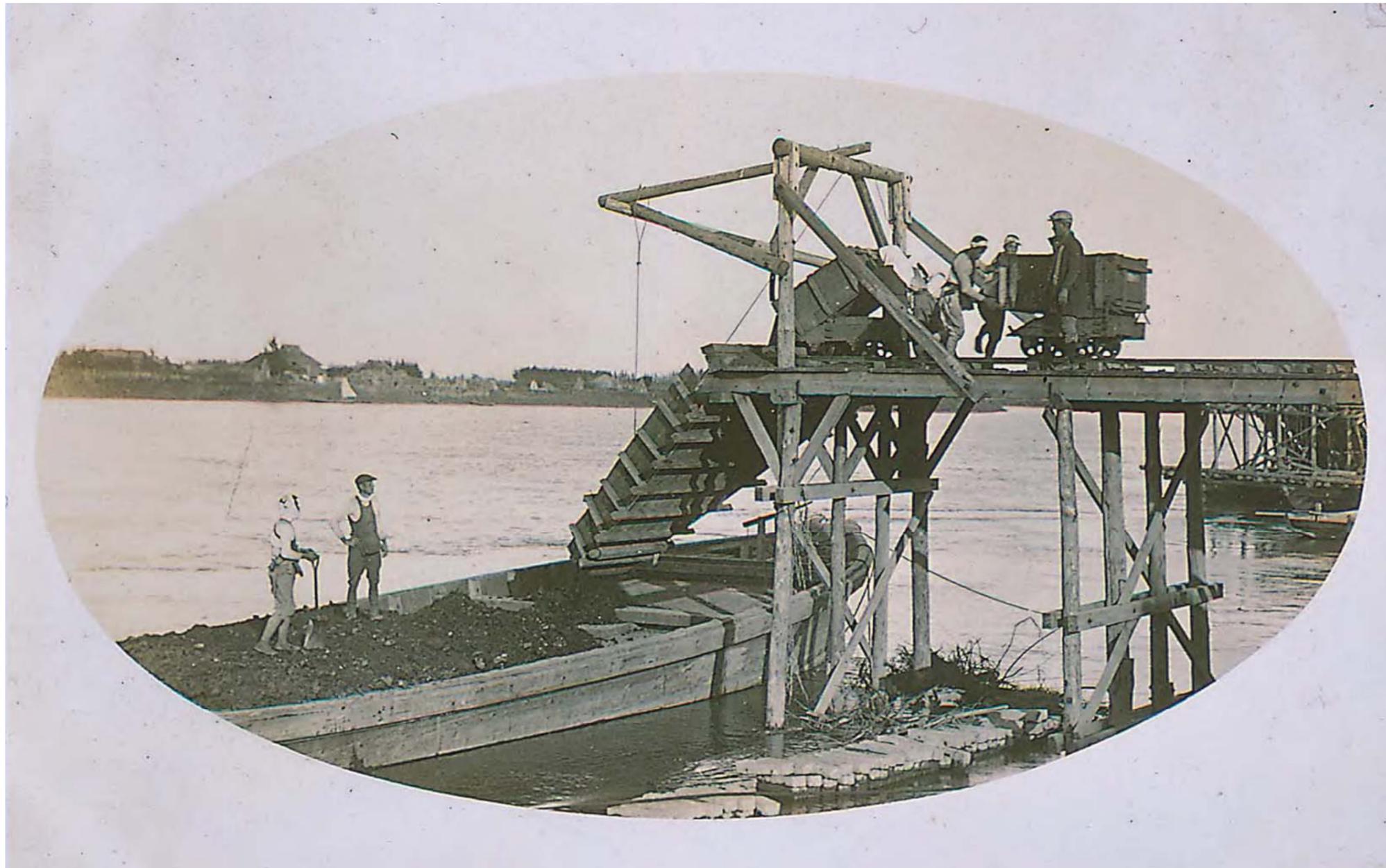
海水浴からの戻り船



所蔵・提供：高間和儀

昭和28年頃(1953) 江別市

石炭の積込み作業



出展：河合治八郎写真集

撮影年不明 石狩市・石狩川か